

公開文書

令和5年7月1日 (臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 手指化膿性疾患治療に関する後ろ向き症例集積研究

[研究責任者] 水戸医療センター 整形外科 医長 小川健

[研究の概要] 手指化膿性腱鞘炎は早期に適切な治療を行わないと著しい機能低下をきたす疾患である。十分な腱滑膜切除が唯一の治療法とされ、術後に菌が同定されれば有効な抗菌薬の持続点滴を行う。菌が同定されないことも多く、エンピリックに広域スペクトラムの抗菌薬を点滴または内服投与することもある。一方で、化膿性関節炎や骨髄炎の治療として持続局所抗菌薬灌流療法(iSAP)が開発され、日本国内でも広まってきている。手指の化膿性疾患に対して、このiSAPを併用した報告が近年散見され、その効果が期待されている。

手指化膿性疾患(腱鞘炎と化膿性関節炎)に対して、当院では徹底的な洗浄と滑膜切除に加えて、可能な限りNPWTを併用することで、治療成績の向上を図っている。今回、その治療成績をまとめ、従来法との比較、治療にあたってのメリット・デメリットなどもまとめて報告していく。

[個人情報の取扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[研究対象者等に通知し、又は研究対象者等が容易に知り得る状態に置くべき事項]

1) 試料・情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む)
MRI画像を診断目的に撮像し、解析する。治療経過との整合性を評価する。

2) 利用し、又は提供する試料・情報の項目
MRI画像、臨床所見

3) 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名
当院で情報を収集・解析する。

4) 提供する試料・情報の取得の方法
外来でMRIを撮像する。

5) 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者(多機関共同研究にあっては、研究代表者)の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

水戸医療センター 整形外科

研究責任者(職名) 骨運動器部長(氏名) 小川健

5) 利用する者の範囲

水戸医療センター 整形外科

研究責任者(職名) 骨運動器部長(氏名) 小川健

6) 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

水戸医療センター 整形外科
研究責任者（職名）骨運動器部長（氏名）小川健

7) 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨
下記[問い合わせ先]へ連絡

9) 8) の研究対象者等の求めを受け付ける方法
下記[問い合わせ先]へ連絡

10) 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨（他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られる旨を含む。）並びにその入手・閲覧の方法
下記[問い合わせ先]へ連絡

[問い合わせ先] 国立病院機構水戸医療センター 整形外科 小川健
電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788